

イーサネット LTE モデム

IDG400-0TE01 (LTE cat. 4)

取扱説明書



イーサネット LTE モデム

第1章 はじめに.....	4
1.1 はじめに.....	4
1.2 内容品リスト.....	5
1.2.1 梱包の内容.....	5
1.3 ハードウェア構成.....	7
1.4 LED 表示.....	9
1.5 設置および保守に関する注意事.....	9
1.5.1 システム要件.....	9
1.5.2 警告.....	10
1.5.3 熱い表面に関する注意事項.....	11
1.6 ハードウェアの設置.....	12
1.6.1 ユニットを取り付ける.....	12
1.6.2 SIM カードを挿入する.....	12
1.6.4 アンテナ延長を取り付ける例.....	13
1.6.5 ウォールマウントを取り付ける例.....	14
1.6.7 DIN レールを取り付ける例.....	16
1.6.8 屋外 LTE アンテナを取り付ける例.....	17
1.6.9 ネットワークまたはホストへの接続.....	17
1.6.10 Web UI の構成による設定.....	18
第2章 設定.....	20
2.1 ネットワーク.....	20
2.1.1 デバイスモード.....	20
2.1.2 セルラー.....	21
2.1.3 イーサネット.....	24
2.1.4 ポート転送.....	26
2.1.5 DDNS.....	30
2.2 システム.....	31
2.2.1 システムタイム.....	31
2.2.3 言語.....	33

イーサネット LTE モデム

2.2.4 システム情報.....	34
2.2.5 スケジューリング.....	35
第3章 管理.....	37
3.1 管理者.....	37
3.1.1 FW アップグレード.....	37
3.1.2 Password & MMI.....	38
3.1.3 再起動およびリセット.....	40
3.1.4 SSH.....	40
3.1.5 リモート管理者.....	42
3.1.6 デバイス管理.....	45
3.2 SMS ツール.....	46
3.2.1 SMS.....	46
3.2.2 コマンドスクリプト.....	51
第4章 ステータス.....	52
4.1 セルラー.....	52
4.1.1 ネットワーク.....	52
4.1.2 モデム.....	53
4.1.3 信号.....	56
4.2.1 LAN クライアントリスト.....	58

第 1 章 はじめに

1.1 はじめに

IDG400 イーサネットLTEモデムをお買い上げいただき、ありがとうございます。このAMITセルラーモデムを使うと、物事をつなぐためにローカルの携帯電話会社からこのデバイスにSIMカードを挿入することにより、物事をつなぐインターネット（IoT）の世界で大きな第一歩を踏み出すことができます。このセクションには、デバイスを設定するために必要なすべての情報が記載されています。

主な機能：

- LTE WAN 接続ができます。
- 包括的な LAN 接続用にイーサネットポートを 1 つ提供します。
- シンプルな Web GUI を使って基本設定を行い、LTE の状態を確認します。
- 様々な M2M（Machine-to-Machine）アプリケーションで動作するように設計され、ビジネス及び M2M 環境向けの取り付けやすい金属製ボディです。
- 位置情報サービス用の選択可能な GNSS 機能です。

本製品を設置して使用する前に、本書をよくお読みになって、本製品の機能を十分に理解してください。

イーサネット LTE モデム

1.2 内容品リスト

1.2.1 梱包の内容

#標準パッケージ

項目	説明	内容品	数量
1	IDG400-0TE01 LTEモデム		1pcs
2	セルラーアンテナ		2pcs
3	Micro USBケーブル (0.5M)		1pcs
4	RJ45 ケーブル		1pcs

#オプションパッケージ

項目	説明	内容品	数量
1	ウォールマウントキット		1セット (L型鉄片: ネジスクリュー × 4 IDG400筐体: ネジスクリュー × 4)
2	DIN レールキット		DINレールには1セット (DINレール: ネジスクリュー × 3 IDG400筐体: ネジスクリュー × 2)

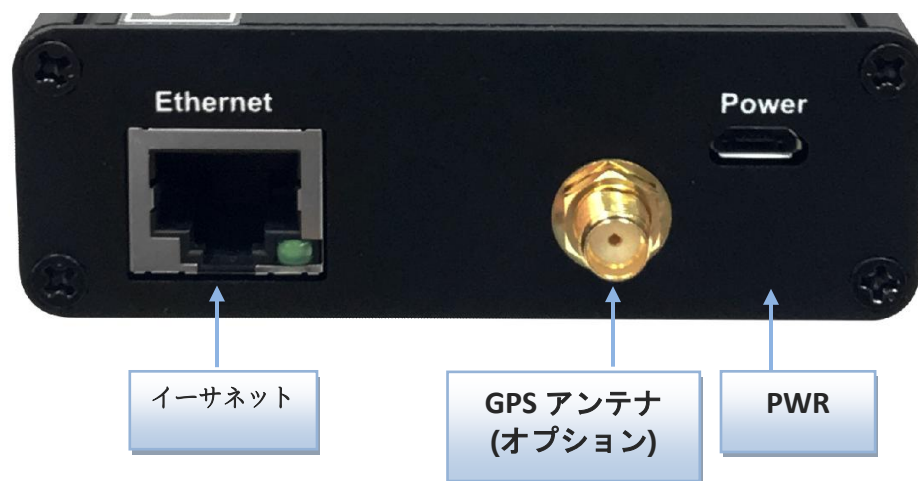
イーサネット LTE モデム

3	DC TO Micro USB		1pcs
4	小型アングル LTE アンテナ		●698~960 / 1710~2700の広帯域をカバー (長さ：72mm) 注：小さい設計のため、延長するのにケーブルを使用しないでください。
5	LTEアンテナ 磁気ベース		●3M Cable ●強力磁石固定
6.	屋外LTEアンテナ	 Smart Factory	●698~791/824~960/1710~2170/2300~2700MHzの広帯域をカバー ●磁鐵固定 ●3M Cable ●設置しやすい底部に強力磁石装備しています ●防水／防塵／油汚れに強い (IP66) ●H127xW57xD52mm

イーサネット LTE モデム

1.3 ハードウェア構成

➤ 左側



➤ 右側



イーサネット LTE モデム

※リセットボタン

リセットボタンを使用すると、迅速かつ簡単にデフォルトの設定を復元できます。リセットボタンを 6~8 秒間押し続けてから放します。デバイスが工場出荷時のデフォルトの設定に戻ります。

※ GPS アンテナ

GNSS 機能は、一部のモデル/ SKU では使用できません。GNSS 機能付きのモデル/ SKU の場合、GPS アンテナはオプションの付属品であり、標準パッケージには含まれていません。GNSS 機能を使用する場合は、追加の GPS アンテナ（パッシブタイプ）を購入して対応する SMA コネクタに取り付けてください。

イーサネット LTE モデム

1.4 LED 表示



表示	LED の色	説明
 電源	青色	点灯：デバイスの電源が入っています。 点滅：デバイスの電源が切れています。
 状態	青色 赤色	赤色の点灯：セルラーの準備ができていない、もしくはセルラーの信号がありません。 赤色の点滅：セルラーの準備ができていますが、登録ステータスは準備ができていません。 青色の点灯：信号は準備完了で、操作者が登録されています。 青色(高速)：LTE の状態。 青色(低速)：3G の状態。

1.5 設置および保守に関する注意事項

1.5.1 システム要件

ネットワークの要件	• 速いイーサネットRJ45ケーブル • 3G / LTEセルラーサービスに加入契約している • PCに10/100イーサネットアダプターが搭載されている
Web ベースの構成ユーティリティの要件	次のものを搭載しているコンピュータ： • Windows®, Macintosh, or Linux-ベースのオペレーティングシステム • インストール済みのイーサネットアダプター ブラウザの要件： • Internet Explorer 8.0 以上 • Chrome 2.0以上 • Firefox 3.0以上 • Safari 3.0以上

イーサネット LTE モデム

1.5.2 警告



注意

- 電源アダプターはパッケージに付属のもののみを使用してください。電圧定格が異なる電源アダプターの使用は、危険をともない、本製品に損傷が発生する場合があります。
- ケースを自分で開けて修理しないでください。本製品が非常に高温になっている場合は、ただちに電源を切断し、所定のサービスセンターに修理を依頼してください。
- 本製品は安定した場所に設置してください。本製品と付属品は屋外で使用しないでください。

1.5.3 熱い表面に関する注意事項



注意： 金属製エンクロージャの表面温度は、非常に高くなる恐れがあります。特に、長時間動作させた後、空調のなり閉じたキャビネットに設置した場合、または、高い周囲温度の空間に設置した場合です。

保守点検中に指で熱い表面に触れないようにしてください！

イーサネット LTE モデム

1.6 ハードウェアの設置

本章では、ハードウェアの設置および構成方法について説明します。

1.6.1 ユニットを取り付ける

IDG400 シリーズは卓上に設置することも、または伸長板を使って DIN レールブラケットに設置したり、壁に取り付けることもできます。

1.6.2 SIM カードを挿入する

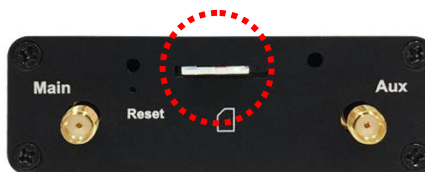
警告： SIM カードを挿入または交換する前に、必ずデバイスの電源を切断してください。

SIM カードスロットは、IDG400 シリーズのハウジングの右側にあり、SIM カードを保護する役割があります。SIM カードの取り付けや取り外しを行う前に、外部 SIM カードを取り外す必要があります。SIM カードを挿入または取り出しを行うには、次の手順に従ってください。SIM カードを正しく取り付けてから、外部 SIM カードカバーを取り付けます。

Step 1: SIM カバーを外す
SIM カバーを左側から取り外します。



Step 2: SIM を削除
挿入した SIM カードを押して SIM カードを取り出します。



Step 3: SIM を挿入する
SIM カードを SIM スロットに押し込みます。



Step 4: SIM カバーを戻す
SIM カバーを元に戻す



イーサネット LTE モデム

1.6.4 アンテナ延長を取り付ける例



イーサネット LTE モデム

1.6.5 ウォールマウントを取り付ける例



イーサネット LTE モデム



イーサネット LTE モデム

1.6.7 DIN レールを取り付ける例



イーサネット LTE モデム

1.6.8 屋外 LTE アンテナを取り付ける例



1.6.9 ネットワークまたはホストへの接続

IDG400 シリーズには 1 つの RJ45 ポートがあり、10/100Mbps イーサネットに接続できます。また、ネットワークの伝送速度を自動検出し、自動構成を実行します。デバイスの RJ45 ポート (LAN) にイーサネットケーブルを接続し、イーサネットケーブルのもう一方の端部をコンピュータのネットワークポートに接続します。これにより、RJ45 イーサネットケーブルを使用して、デバイスをホスト PC のイーサネットポートに接続し、デバイスの構成を行うことができるようになります。

イーサネット LTE モデム

1.6.10 Web UI の構成による設定

デバイスの構成は Web UI から行うことができます。

IP アドレス (<http://192.168.123.254>) を入力します。¹



ログインページが表示されたら、ユーザー名とパスワード「admin」²を入力してから、[Login (ログイン)] ボタンをクリックします。

A screenshot of a web login page. At the top, there is a dark grey header with the word "ログイン" (Login) in white. Below the header, the text "ユーザー名とパスワードを入力して「ログインボタン」をクリックしてください。" (Enter your username and password and click the "Login button".) is displayed. There are two input fields: one for "ユーザー名" (Username) and one for "パスワード" (Password). Below these fields is a dark grey button with the word "ログイン" (Login) in white.

セキュリティのため、初回ログイン時にパスワードの変更を要求されます。
新しいパスワードを設定してください。

(注: パスワードは 10 文字以上で、少なくとも 1 つの英字と 1 つの数字を含む必要があります。
パスワードはログイン アカウントと同じにすることはできません。)

¹ このゲートウェイのデフォルトの LAN IP アドレスは 192.168.123.254 です。変更する場合は、新しい IP アドレスを使用して、ログインする必要があります。

² ログインパスワードは必ずデフォルト値から変更するようにしてください。

イーサネット LTE モデム

パスワード変更

セキュリティのために、デバイスへの初回ログイン時にパスワードの変更を求められます

新しいパスワードを入力してください

(パスワードの形式: 最低 10 文字、大文字 1 文字、小文字 1 文字、数字 1 文字。)

新しいパスワード

新しいパスワードを確認します



保存

そうすれば、パスワードを変更成功した後、新しいパスワードを入力して再度ログインしてください。

パスワード

パスワード変更成功。

第 2 章 設定

2.1 ネットワーク

ステータス

設定

ネットワーク

システム

管理

ログアウト

デバイスモード

セルラー

イーサネット

ポート転送

DDNS

デバイスモード

デバイスモード

NAT

保存

項目	説明
デバイスモード	ユニットの動作モードを設定します。
セルラー	セルラーネットワークのパラメータを設定します。
イーサネット	イーサネットの IP と DHCP サービスを設定します。
ポート転送	特定のポートまたはプロトコルを有効にすると、外出先で IDG400 の LAN ネットワークにあるデバイスにアクセスできます。
DDNS	ユニットの動的 DNS サービスを登録してください。

2.1.1 デバイスモード

デバイスモード

セルラー

イーサネット

ポート転送

DDNS

デバイスモード

デバイスモード

モデム

保存

デバイスモード		
項目	値設定	説明
Device Mode (デバイスモード)	1. 設定を入力しなければなりません 2. デフォルトでは、NAT が選択されています。	NAT IDG400 は NAT サービスがあるし、接続された機器に簡単なファイアウォール機能を提供します。
		Modem (モデム) IDG400 はイーサネット経由で接続された機器にセルラーの IP アドレスを渡します。

イーサネット LTE モデム

2.1.2 セルラー

セルラー構成		
ネットワークタイプ	自動	
APN	手動	
APN設定		
ユーザー名		
パスワード		
認証	自動	
IPタイプ	IPv4	
IP Mode	動的IPアドレス 静的IPアドレス構成	
PINコード		
ローミング	☐ 有効	
MTU設定	☐ 有効 (68~1500)	
接続監視	☒ 有効	
Checking Method	ICMP Check	
	IPアドレス: 8.8.8.8 間隔: 60 (2~14400 秒)	
WANからのPING破棄	☐ 有効	

デバイスモード		
項目	値設定	説明
APN	1. 設定を入力しなければなりません 2. デフォルトでは、Auto（自動）が選択されています。	Auto（自動） を選択すると、SIM の情報によって、自動的にネットワークが登録されます。 Manual（手動） を選択し Dial Number（ダイヤル番号） 、 Username（ユーザー名） 、および、 Password（パスワード） をご利用のキャリアが提供した内容に設定します。
Manual APN (AP 設定)	1. 設定を入力しなければなりません 2. 文字列形式：任意のテキスト	接続を確立するために使用する APN を入力します。
Username (ユーザー名)	1. オプションの設定 2. 文字列形式：任意の	認証に使用する Username（ユーザー名） を入力します。

イーサネット LTE モデム

	テキスト	
Password (パスワード)	1. オプションの設定 2. 文字列形式：任意のテキスト	認証に使用するPassword (パスワード) を入力します。
Authentication (認証)	1. 設定を入力しなければなりません 2. デフォルトでは、Auto (自動) が選択されています。	PAP (パスワード認証プロトコル) を選択し、そのプロトコルを使って、キャリアのサーバーにより認証します。 CHAP (チャレンジハンドシェイク認証プロトコル) を選択し、そのプロトコルを使って、キャリアのサーバーにより認証します。 Auto (自動) が選択されているとき、PAP または CHAP いずれかのサーバーにより認証します。
IP Type (IP タイプ)	1. 設定を入力しなければなりません 2. 文字列形式：IP アドレス (IPv4 タイプ)	セルラーネットワークが提供するネットワークサービスの IP タイプを指定します。IPv4、IPv6、または IPv4 / 6 が可能です。
IP Mode (IP モード)	1. 設定を入力しなければなりません 2. デフォルトでは、Dynamic IP (動的IP) が選択されます。	Dynamic IP (動的 IP) が選択されているとき、キャリアのサーバーから、すべての IP 構成を取得し、デバイスを直接設定します。 キャリアにより提供された固有のアプリケーションを有している場合、または、独自の IP 構成を設定する場合は、Static IP (スタティック IP) モードに切り替え、IP アドレス、サブネットマスクおよびゲートウェイなどの必要なすべてのパラメータを入力します。 注： IP Subnet Mask (IP サブネットマスク) は、必須入力設定です。正しく構成されていることを確認してください。そうしないと、接続に問題が発生します。
PIN Code (PIN コード)	1. オプションの設定 2. 文字列形式：整数	ご利用のSIMカードをロック解除するために必要な場合は、PIN (個人識別番号) を入力します。
MTU Setup (MTU 設定)	1. オプションの設定 2. 文字列形式：整数	EthernetのMTU(最大伝送単位) を指定します。 値の範囲： 68~1500 ※お客様がご利用になる通信網によってネットワークで許容されるMTU値は異なります。それにより通信に失敗する場合がございますので、ご利用になる通信網、使用するSIMカードに応じて適切なMTU値の設定をお願い致します。
Keep Alive (接続監視)	1. オプションの設定 2. デフォルトでは、ボックスにチェックが入っています。	Enable (有効化) ボックスにチェックを入れて、キープアライブ機能を有効化します。 ICMP Checking (ICMP チェッキング) を使って、システムは、ICMP 要求パケットを指定された宛先に送信することにより、接続を確認します。ネットワークの接続を維持し、ping する IP アドレスを入力するには、Ping IP を選択します。 Traffic Check (トラフィック チェック) を使って、システムは WAN パケット トラフィックを定期的にチェックします。
Discard Ping From WAN (WAN からの PING 破棄)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています	Enable (有効) ボックスにチェックを入れ、Discard PING from WAN (WAN からの Ping の破棄) 機能を有効します。

イーサネット LTE モデム

静的IPアドレス設定

IP	0.0.0.0	
サブネットマスク	255.255.255.0 (/24)	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	(選択的)
プライマリーDNS	0.0.0.0	(選択的)
セカンダリーDNS	0.0.0.0	(選択的)

保存

閉じる

静的 IP アドレス設定

項目	値設定	説明
IP Address (IP アドレス)	設定を入力しなければなりません	WAN IP Address (WAN IP アドレス) (設定を入力しなければなりません) : サービスプロバイダから提供された WAN IP アドレスを入力します。
SubnetMask (サブネットマスク)	設定を入力しなければなりません	WAN Subnet Mask (WAN サブネットマスク) (設定を入力しなければなりません) : サービスプロバイダから提供された WAN サブネットマスクを入力します。
WAN Gateway (WAN ゲートウェイ)	設定を入力しなければなりません	WAN Gateway (WAN ゲートウェイ) (設定を入力しなければなりません) : サービスプロバイダから提供された WAN ゲートウェイの IP アドレスを入力します。
Primary DNS (プライマリーDNS)	IPv4 形式です	Primary DNS (プライマリーDNS)
Secondary DNS (セカンダリーDNS)	IPv4 形式です	Secondary DNS (セカンダリーDNS)

イーサネット LTE モデム

2. 1. 3 イーサネット

デバイスモード	セルラー	イーサネット	ポート転送	DDNS
---------	------	--------	-------	------

イーサネット構成

IP	192.168.123.254
ネットマスク	255.255.255.0 (/24)
DHCPサーバー	☐ 有効
DHCP構成	DHCP設定

イーサネット IP		
項目	値設定	説明
IP Address (IP アドレス)	1. IPv4 形式です。 2. 設定を入力しなければなりません。	本デバイスの IP アドレス。
Netmask (ネットマスク)	デフォルトで、 255. 255. 255. 0 (/24) が設定されています。	本デバイスのサブネットマスク。
DHCP Server (DHCP サーバー)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスをクリックして、本設定を有効します。
DHCP Setting (DHCP 設定)	該当なし	ボタンをクリックして [DHCP 設定] ページをポップアップします。

イーサネット LTE モデム

DHCP設定

IPプール開始

5

IPプール終了

10

リース時間

3600

保存

閉じる

DHCP 設定項目	値設定	説明
IP Pool Start (IP プール開始)	1. 数値文字列形式です。 2. 設定を入力しなければなりません	本 DHCP サーバーの IP プールです。このフィールドに入力される開始アドレスで構成されます。
IP Pool End (IP プール終了)	1. 数値文字列形式です。 2. 設定を入力しなければなりません	本 DHCP サーバーの IP プールです。このフィールドに入力される終了アドレスで構成されます。
Lease Time (リース時間)	1. 数値文字列形式です。 2. デフォルトでは、 3600 が入力されています	本 DHCP サーバーのリース時間です。 <u>値の範囲</u> : 300～604800 秒。

イーサネット LTE モデム

2.1.4 ポート転送



管理センター IP Network

WAN:グローバルIP 100.100.1.1
LAN:192.168.1.1

・ 特長:

- ・ センターの管理者はこのURL (<https://200.200.1.1>) 経由でIDG400を設定できます。
- ・ センターの管理者はこのURL (<http://200.200.1.1>) 経由でIPCAMをアクセスできます。
- ・ センターの管理者は (RTSP→ 200.200.1.1) 経由でIPCAMのビデオをアクセスできます。

デバイスモード	セルラー	イーサネット	ポート転送	DDNS
仮想サーバー				
仮想サーバー		☐ 有効	追加	

仮想サーバー項目	値設定	説明
Virtual Server (仮想サーバー)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスにチェックを入れると、このポート転送機能が有効されます。

イーサネット LTE モデム

仮想サーバールール設定

名称	
サーバーIP	
送信元IP	任意のIP
プロトコル	TCP(6)
パブリックポート	単一ポート
プライベートポート	単一ポート
ルール	☐ 有効

保存

閉じる

仮想サーバー構成項目	値設定	説明
Name (名称)	1. 文字列形式は任意のテキストです 2. 設定を入力しなければなりません	名称名を入力します。覚えやすい名称を入力します。
Server IP (サーバーIP)	設定を入力しなければなりません	特定の IP アドレスを入力してください。
Source IP (送信元IP)	1. 設定を入力しなければなりません 2. デフォルトでは、Any (任意) が選択されています	このフィールドは、Source IP address (ソース IP アドレス) を指定するためのフィールドです。 任意の IP アドレスからのパケットをフィルタするには、Any (任意) を選択します。 IP アドレスからのパケットをフィルタリングするには、Specific IP Address (特定の IP アドレス) を選択します。 特定の範囲の IP アドレスからのパケットをフィルタリングするには、IP Range (IP 範囲) を選択します。
Protocol (プロトコル)	設定を入力しなければ	「TCP」が選択されているとき

イーサネット LTE モデム

ル)	なりません	これは、パケットフィルタルールの「Protocol（プロトコル）」オプションが、TCPであることを意味します。 Public Port（パブリックポート）は、Well-known Service（既知のサービス）から事前定義されたポートを選択し、Private Port（プライベートポート）は、Public Port（パブリックポート）番号と同じです。 Public Port（パブリックポート）は、Single Port（シングルポート）を選択し、ポート番号を指定し、Private Port（プライベートポート）は、Single Port（シングルポート）番号を設定することができます。 Public Port（パブリックポート）は、Port Range（ポート範囲）を選択し、ポート範囲を指定し、Private Port（プライベートポート）は、Single Port（シングルポート）またはPort Range（ポート範囲）を選択できます。 <u>値の範囲</u>：パブリックポート、プライベートポートの場合、1～65535 です。 「UDP」が選択されているとき これは、パケットフィルタルールの「Protocol（プロトコル）」オプションが、UDPであることを意味します。 Public Port（パブリックポート）は、Well-known Service（既知のサービス）から事前定義されたポートを選択し、Private Port（プライベートポート）は、Public Port（パブリックポート）番号と同じです。 Public Port（パブリックポート）は、Single Port（シングルポート）を選択し、ポート番号を指定し、Private Port（プライベートポート）は、Single Port（シングルポート）番号を設定することができます。 Public Port（パブリックポート）は、Port Range（ポート範囲）を選択し、ポート範囲を指定し、Private Port（プライベートポート）は、Single Port（シングルポート）またはPort Range（ポート範囲）を選択できます。 <u>値の範囲</u>：パブリックポート、プライベートポートの場合、1～65535 です。 「TCP& UDP」が選択されているとき これは、パケットフィルタルールの「Protocol（プロトコル）」オプションが、TCP および UDPであることを意味します。 Public Port（パブリックポート）は、Well-known Service（既知のサービス）から事前定義されたポートを選択し、Private Port（プライベートポート）は、Public Port（パブリックポート）番号と同じです。 Public Port（パブリックポート）は、Single Port（シングルポート）を選択し、ポート番号を指定し、Private Port（プライベートポート）は、Single Port（シングルポート）番号を設定することができます。 Public Port（パブリックポート）は、Port Range（ポート範囲）を選択し、ポート範囲を指定し、Private Port（プライベートポート）は、Single Port（シングルポート）またはPort Range（ポート範囲）
----	-------	--

イーサネット LTE モデム

		囲)を選択できます。 <u>値の範囲</u> : パブリックポート、プライベートポートの場合、1～65535 です。
Rule (ルール)	1 デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています	Enable (有効) ボックスにチェックを入れると、ルールが有効になります。

ルール名	
Window RDC	編集 削除

仮想サーバー-ルール名 項目	値設定	説明
Rule Name (ルール名)	該当なし	「編集」ボタンをクリックして仮想サーバールール設定ページをポップアップ表示し、ルールを編集します。 ルールを削除するには、「削除」ボタンをクリックしてください。

イーサネット LTE モデム

2. 1. 5 DDNS

デバイスモード	セルラー	イーサネット	ポート転送	DDNS
---------	------	--------	-------	------

構成

DDNS	☒ 有効
プロバイダ	DynDNS.org ▼ DynDNS.org
ホスト名	No-IP.com
ユーザー名/E-Mail	TZO.com
パスワード/キー	Dynamic DO!.jp(Free)
	Dynamic DO!.jp(Charge)
	Dynamic DO!

DDNS 項目	値設定	説明
DDNS	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています	Enable（有効） ボックスにチェックを入れると、この機能が有効されます。
Provider（プロバイダ）	デフォルトは、 DynDNS.org（動的） が選択されています	動的 DNS の DDNS プロバイダを選択します。これは、DynDNS.org（動的）、NO-IP.com、TZO.com、Dynamic DO!.JP(Free)と(Charge)、Dynamic DO!などになります。
Host Name（ホスト名）	1. 文字列形式は任意のテキストです 2. 設定を入力しなければなりません	動的 DNS の登録ホスト名です。 <u>値の範囲</u> ： 0～63 文字。
User Name / E-Mail（ユーザー名/Eメール）	1. 文字列形式は任意のテキストです 2. 設定を入力しなければなりません	動的 DNS のユーザー名またはEメールアドレスを入力します。
Password / Key（パスワード/キー）	1. 文字列形式は任意のテキストです 2. 設定を入力しなければなりません	動的 DNS のパスワードまたはキーを入力します。

イーサネット LTE モデム

2.2 システム

2.2.1 システムタイム

システムタイム	GNSS	言語	システム情報
---------	------	----	--------

システムタイム

現在タイム	Thu Jan 24 08:11:27 2019
タイムを同期する	Auto ▼
タイムゾーン	(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京 ▼
夏時間	☐ 有効
開始日	1 ▼ / 1 ▼ / 0 ▼ (月/日/時)
終了日	1 ▼ / 1 ▼ / 0 ▼ (月/日/時)
アクション	アクション

システムタイム 項目	値設定	説明
Current Time（現在 タイム）	該当なし	現在のシステム時刻を表示します。
Sync Time（タイム を同期する）	1. 設定を入力しな ければなりません 2. デフォルトで、 Auto（自動）が選択さ れています	自動を選択すると、ユニットはセルラーセルを介して時刻を同期し、 セルラーセルが時刻情報を提供しない場合は NTP の使用を試みます。
Time Zone（タイム ゾーン）	1. 必須項目です。 2. デフォルトで、 [GMT+09 :00] が選択 されています。	デバイスの所在地のタイムゾーンを選択します。
Daylight Saving Time（夏時間）	1. これは、オプション 項目です。 2. デフォルトでは、 チェックが外されてい ます。	Enable（有効）ボタンにチェックを入れ、夏時間機能を有効します。 この機能を有効にする際、夏時間の開始日と終了日を指定する必要があります。
Start Date（開始日）	該当なし	夏時間の開始日

イーサネット LTE モデム

End Date(終了日)	該当なし	夏時間の終了日
Action(アクション)	該当なし	[Action(アクション)] ボタンをクリックすると、指定されたタイムサーバーとシステム時刻を直ちに同期させることができます。

イーサネット LTE モデム

2.2.3 言語

システムタイム

GNSS

言語

システム情報

言語設定

多言語

日本語 ▼

言語設定 項目	値設定	説明
多言語	デフォルトでは、日本語が選択されています。	英語または日本語を選択してください。

イーサネット LTE モデム

2.2.4 システム情報

システムタイム	言語	システム情報	スケジューリング
デバイス情報			
モデル名	IDG400-0TE01 A1		
シリアル番号	ZZ00570800191A		
Device Up-Time	Oday 0hr 51min 16sec		

デバイス情報		
項目	設定値	説明
Model Name (モデル名)	該当なし	この製品のモデル名が表示されます。
Serial Number (シリアル番号)	該当なし	この製品のシリアル番号が表示されます。
Device Up-Time (デバイス稼働時間)	該当なし	起動以降のデバイスの稼働時間の統計情報が表示されます。

イーサネット LTE モデム

2.2.5 スケジューリング

スケジュール設定は、他の機能、例えば、デバイスは定期的に再起動に適用可能なタイムスケジュールルールを追加/削除する機能を提供します。

システムタイム	GNSS	言語	システム情報	スケジュールリング
---------	------	----	--------	-----------

時間スケジュール

時間スケジュール	追加
----------	----

Add（追加）ボタンが適用されると、Time Schedule Configuration（タイムスケジュール構成）およびTime Period Definition（期間定義）画面が表示されます。

タイムスケジュール構成

ルール名	
ルールポリシー	無効 ▼ 以下の期間において

期間定義

時間をスケジュールに入れる	毎日 ▼
開始時間 (hh:mm)	
終了時間 (hh:mm)	

保存

閉じる

イーサネット LTE モデム

タイムスケジュール構成		
項目	構成 値設定	説明
Rule Name (ルール名)	文字列：任意のテキスト	ルール名を設定します
Rule Policy (ルールポリシー)	デフォルトは、非アクティブです	以下の期間において、機能の無効/有効を適用します

期間定義		
項目	値 設定	説明
Week Day (曜日)	メニューから選択します	毎日または曜日のいずれかを選択します
Start Time (開始時間)	時間フォーマット (hh:mm)	選択した曜日の開始時間です
End Time (終了時間)	時間フォーマット (hh:mm)	選択した曜日の終了時間です
Save (保存)	該当なし	Save (保存) をクリックして、設定を保存します
Undo (閉じる)	該当なし	Undo (閉じる) をクリックして、設定をキャンセルします

タイムスケジュールリスト

ルール名		
Test	編集	削除

ボタン説明		
項目	値 設定	説明
Edit (編集)	該当なし	Edit (編集) ボタンをクリックして、タイムスケジュールルールを構成します
Delete (削除)	該当なし	Delete (削除) ボタンをクリックして、選択したルールを削除します

第 3 章 管理

3.1 管理者

3.1.1 FW アップグレード

FWアップグレード	Password & MMI	再起動およびリセット	SSH	リモート管理者	デバイス管理
-----------	----------------	------------	-----	---------	--------

ファームウェア情報

ファームウェアバージョン	00001M0.P61_j61.0000_06261200
ファームウェア時間	2025/06/26

FWアップグレード

FWパス	選択檔案 沒有選擇檔案
アップグレードアクション	アップグレード

ファームウェア情報		
項目	値設定	説明
FW Version (FW バージョン)	該当なし	製品のファームウェアバージョンが表示されます。
FW Date (ファームウェア時間)	該当なし	ファームウェアのビルド時間が表示されます。

FW アップグレード		
項目	値設定	説明
FW Path (FW パス)	該当なし	新しいファームウェアが利用可能な場合は、FW Upgrade (FW アップグレード) ボタンをクリックして、via Web UI (Web UI 経由) でデバイスファームウェアをアップグレードします。
Upgrade Action (アップグレードアクション)	該当なし	アップグレードボタンをクリックして、選択した FW でアップグレードプロセスを開始します。

イーサネット LTE モデム

3.1.2 Password & MMI

FWアップグレード	Password & MMI	再起動およびリセット	SSH	リモート管理者
デバイス管理				
ユーザー名				
ユーザー名	admin			
新しいユーザー名				
保存				
パスワード				
旧パスワード				
新パスワード				
新パスワード確認				
(パスワードの形式: 最低 10 文字、大文字 1 文字、小文字 1 文字、数字 1 文字。)				
保存				
MMI				
ログイン	誤ったパスワードをチェック&試行回数: 3 (回数)			
ログインタイムアウト	☐ 有効 300 (秒)			
GUI Access Protocol	http/https			

パスワード項目	値設定	説明
Old Password (旧パスワード)	1. 文字列: 任意のテキスト 2. デフォルトパスワードは「admin」です。	現在のパスワードを入力して、パスワードの変更をロック解除できるようにします。
New Password (新パスワード)	文字列: 任意のテキスト	新パスワードを入力します

イーサネット LTE モデム

New Password Confirmation (新パスワード確認)	文字列：任意のテキスト	再度、新パスワードを入力し、確認します
Save (保存)	該当なし	Save (保存) ボタンをクリックして、設定を保存します。

MMI 項目	項目	項目
Login (ログイン)	デフォルトで、3 回が設定されています	ログイン試行カウント値を入力します。 <u>値の範囲</u> ： 3～10。 誤ったパスワードを使って、カウント値を超えて Web GUI にログインしようとする、 「Already reaching maximum Password-Guessing times, please wait a few seconds! (すでに最大パスワード試行回数に達しています。数秒お待ちください!）」 という警告メッセージが表示され、次のログイン試行は無視されます。
Login Timeout (ログインタイムアウト)	デフォルトでは、Enable (有効) ボックスにはチェックが入っていません。	Enable (有効) ボックスにチェックを入れ、自動ログアウト機能を有効し、最大アイドル時間を指定します。 <u>値の範囲</u> ： 30～65535。
GUI Access Protocol (GUI アクセスプロトコル)	デフォルトで、http/https が選択されています。	GUI アクセスに使用するプロトコルを選択します。http/https、http only、https only が可能です。

イーサネット LTE モデム

3.1.3 再起動およびリセット

FWアップグレード	Password & MMI	再起動およびリセット	SSH	リモート管理者	デバイス管理
システム管理					
再起動	今すぐ	再起動			
デフォルト設定に戻す	設定リセット				

システム管理 項目	項目	項目
Reboot（再起動）	該当なし	Reboot（再起動） ボタンを押して直ちにゲートウェイを再起動します。
Reset to Default （デフォルト設定に 戻す）	該当なし	Reset（設定リセット） ボタンをクリックして、デバイスの設定がデフォルト値にリセットします。

3.1.4 SSH

SSH のシナリオ



イーサネット LTE モデム

シナリオの適用タイミング

ゲートウェイ管理者が、イントラネットまたはインターネットのリモートサイトから管理する場合、「Telnet」または「SSH」ユーティリティを使用して、「SSH with CLI」機能を使用することができます。

シナリオ説明

ローカル管理者またはリモート管理者は、特権ユーザー名とパスワードで、「SSH」ユーティリティを使用して、ゲートウェイを管理することができます。

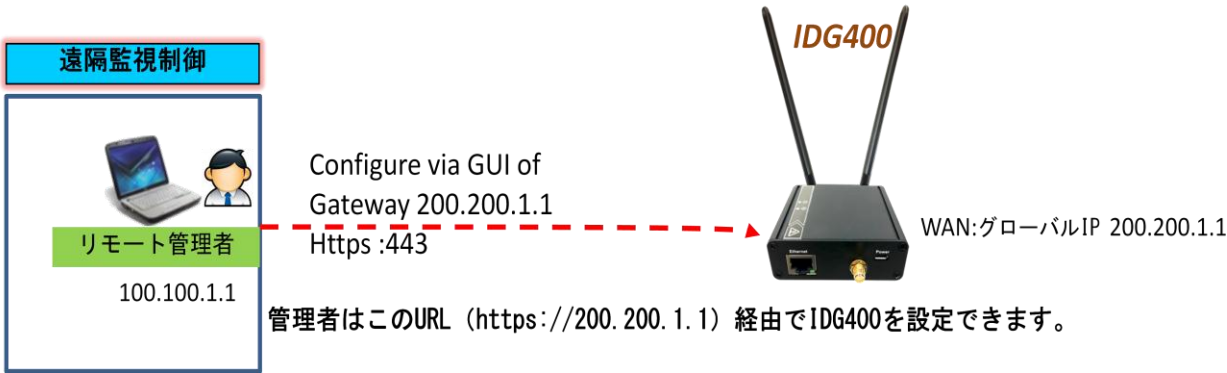
ローカル管理者とゲートウェイ間、または、リモート管理者とゲートウェイ間のデータパケットは、プレーンテキストまたは暗号化されたテキストにすることができます。ローカル管理者用のイントラネットでは、「SSH」ユーティリティを使用します。

FWアップグレード	Password & MMI	再起動およびリセット	SSH	リモート管理者	デバイス管理
構成					
SSH		LAN ☒ 有効 WAN ☐ 有効 サービスポート: 22			

SSH 項目	設定値	説明
SSH	- デフォルトでは、LAN Disable (LAN 無効) ボックスにチェックが入っています。 - デフォルトでは、Service Port (サービスポート) は 22 です。	Enable (有効) ボックスにチェックを入れ、SSHサービスを有効します。対応するサービスを提供するService Port (サービスポート) の数を設定することができます。 <u>値の範囲</u>: 1~65535。

イーサネット LTE モデム

3.1.5 リモート管理者



FWアップグレード

Password & MMI

再起動およびリセット

Telnet & SSH

リモート管理者

リモート管理者ホスト定義

リモート管理者ホスト定義

追加

仮想サーバー項目	値設定	説明
Remote Administrator (リモート管理者)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスにチェックを入れると、リモート管理者機能が有効されます。

イーサネット LTE モデム

ルール構成

ルール名	
プロトコル	HTTP ▼
リモートIP	任意のIPアドレス ▼
サブネットマスク	255.0.0.0 (/8) ▼
サービスポート	80
ルール	☐ 有効

保存

閉じる

ルール構成項目	値設定	説明
Name (ルール名)	1. 文字列形式は任意のテキストです 2. 設定を入力しなければなりません	名称名を入力します。覚えやすい名称を入力します。
Protocol (プロトコル)	デフォルトで、HTTP が設定されています	ルーターアクセスの場合、HTTP または HTTPS 方式を選択します。
Remote IP (リモート IP)	設定を入力しなければなりません	このフィールドは、リモートアクセスのアクセス権を割り当てるためのリモートホストを指定するためのフィールドです。 Any IP (任意の IP) を選択して、すべてのリモートホストを許可します Specific IP (特定の IP) を選択して、特定のサブネットからのリモートホストを許可します。このフィールドに入力された IP アドレスと、サブネットを構成するために選択された Subnet Mask (サブネットマスク) 。
Service Port (サー	1. HTTP のデフォルト	このフィールドは、サービスポートを HTTP または HTTPS 接続に指定

イーサネット LTE モデム

ポート)	は 80 です 2. HTTPS のデフォルト は 443 です	するためのフィールドです。 <u>値の範囲</u> : 1~65535。
Rule (ルール)	1 デフォルトでは、ボ ックスのチェックは外 されています	Enable (有効) ボックスにチェックを入れると、ルールが有効になり ます。

ルール名

Login via https

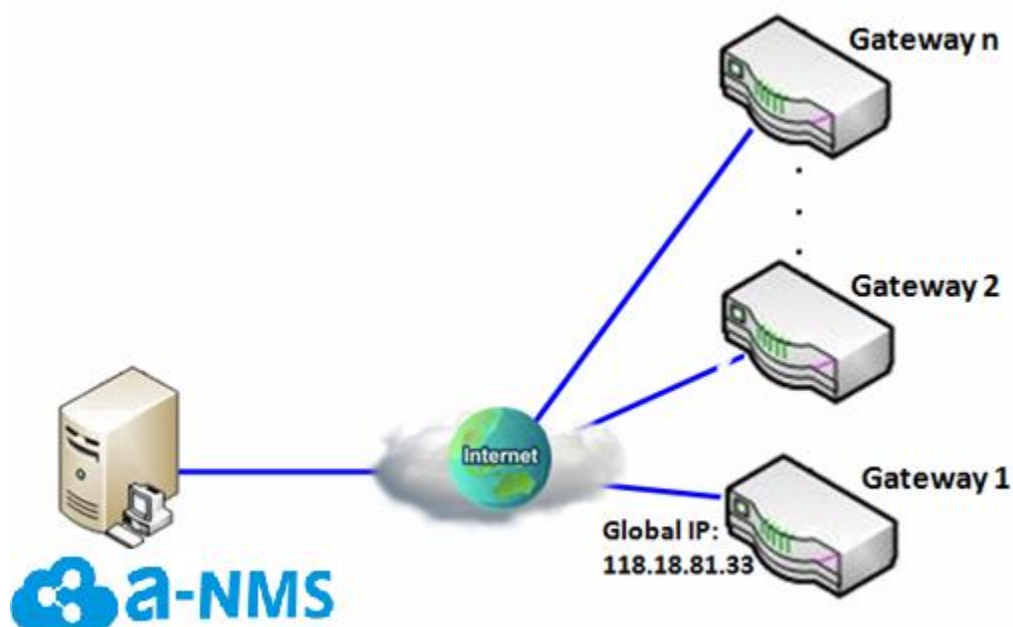
編集

削除

仮想サーバー-ルール名 項目	値設定	説明
Rule Name (ルール 名)	該当なし	「編集」ボタンをクリックして仮想サーバールール設定ページをポッ プアップ表示し、ルールを編集します。 ルールを削除するには、「削除」ボタンをクリックしてください。

イーサネット LTE モデム

3.1.6 デバイス管理



シナリオの説明

a-NMS プラットフォームは、これらのゲートウェイを構成し、最新の FW でアップグレードし、監視することができます。リモートゲートウェイは、各期間に実行するジョブについて a-NMS プラットフォームに問い合わせます。a-NMS プラットフォームは、ゲートウェイにいくつかの緊急ジョブの実行を要求できます。

FWアップグレード	Password & MMI	再起動およびリセット	SSH	リモート管理者	デバイス管理
デバイス設定					
デバイス管理	☐ 有効				
サービスのURLを入力					
サーバーIPのSTUNトラフィックを入力してください					
自己署名	☒ 有効				

イーサネット LTE モデム

デバイス設定項目	設定値	説明
Device management (デバイス管理)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています	Enable (有効) ボックスにチェックを入れ、Device Management を有効します。
Input service URL (サービスの URL を入力)	設定を入力しなければなりません	a-NMS 管理者に依頼し、a-NMS の URL を提供し、手動で設定することができます
Input server ip stun traffic (サーバーの IP STUN トラフィック)	デフォルトでは空白が設定されています	サーバーのパブリック IP またはドメイン名を指定します。
Self-certification (自己署名)	デフォルトでは、ボックスにチェックが入っています	Enable (有効) ボックスにチェックを入れると、自身を証明するために発行する証明書です。

3.2 SMS ツール

3.2.1 SMS

SMSサービス	
SMS	☒ 有効
SMSストレージ	モデム
空き容量	0 (0-10)
イベントマネージメント	☐ 有効 <button>編集</button>
Message Prefix	☐ 有効

SMS サービス項目	設定値	説明
SMS	デフォルトでは、ボックスにチェックが入っています。	これは SMS スイッチです。ボックスにチェックを入れると、SMS 機能が有効になり、ボックスのチェックを外すと、SMS 機能が無効になります。
SMS Storage (SMS ストレージ)	デフォルトで SIM Card (SIM カード) です	SIM Card Only (SIM カード) 及びモデル
Free Space (Free 容量)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています	使用可能なストレージスペースを予約してストレージが不足するのを防ぐために、メッセージ数の数値 (1~10) を指定します。SMS ストレージがいっぱいになると、最も古いメッセージが削除されます。

イーサネット LTE モデム

Event Management (イベント管理)

デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています

Enable (有効) ボックスにチェックを入れ、Event Management (イベント管理) 機能を有効します。

アカウント構成

電話番号#1	
アプリケーション	☐ マネージング ☐ 通知
有効	☐
電話番号#2	
アプリケーション	☐ マネージング ☐ 通知
有効	☐

マネージングイベント

セルラー情報	☐ 有効
セルラー再接続	☐ 有効
再起動	☐ 有効

通知イベント

セルラー接続	☐ 有効
--------	-----------------------------

保存

閉じる

イーサネット LTE モデム

アカウント構成		
項目	設定値	説明
Phone Number (電話番号)	1. 携帯電話番号形式です 2. 設定を入力しなければなりません	SMS アカウント識別子として携帯電話番号を指定します。 <u>値の範囲</u> :-1~32 桁。
Application (アプリケーション)	設定を入力しなければなりません	アプリケーションタイプを指定します。Event Manage (マネージング)、Notify Handle (通知ハンドル) が可能です。
Enable (有効)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスをクリックして、このアカウントを有効します。
Phone Number#2 (電話番号)	1. 携帯電話番号形式です 2. 設定を入力しなければなりません	SMS アカウント識別子として携帯電話番号を指定します。 <u>値の範囲</u> :-1~32 桁。
Application (アプリケーション)	設定を入力しなければなりません	アプリケーションタイプを指定します。Event Manage (マネージング)、Notify Handle (通知ハンドル) が可能です。
Enable (有効)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスをクリックして、このアカウントを有効します。

マネージングイベント		
項目	設定値	説明
Cellular Status (セルラー情報)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスをクリックして、このアカウントを有効します。
Cellular Reconnect (セルラー再接続)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスをクリックして、このアカウントを有効します。
Reboot (再起動)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスをクリックして、このアカウントを有効します。

通知イベント		
項目	設定値	説明
Cellular Connected (セルラー接続)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています。	Enable (有効) ボックスをクリックして、このアカウントを有効します。

イーサネット LTE モデム

SMS要約

新規SMS	0
受信済SMS	0
アクション	<button>新規SMS</button> <button>SMS受信トレイ</button>

SMS 要約

項目	設定値	説明
New SMS（新規 SMS）	該当なし	New SMS（新規 SMS）ボタンをクリックすると、New SMS（新規 SMS）画面が表示されます。この画面から SMS の設定を行うことができます。次のページの New SMS（新規規 SMS）を参照してください。
Received SMS（受信済 SMS）	該当なし	この値は、SIM カードからの既存の SMS 数を記録します。新しい SMS を受信すると、この値に 1 を加えた値になります。
Action（アクション）	N/A	

イーサネット LTE モデム

新規SMS

受取人

((国際フォーマットには '+' を使用し、複数の受信機には ';' を使用します))

テキストメッセージ

入力の長さ: 0/512

アクション

送信

消去

New SMS		
項目	設定値	説明
Receivers (受取人)	該当なし	SMS を送信する受信者を記述します。セミコロンを追加し、SMS をグループ化できる複数の受信者を作成する必要があります。
Text Message (テキストメッセージ)	該当なし	SMS を送信する SMS 本文を作成します。ルーターは、SMS 本文の長さに対して最大 512 文字をサポートします。
Action (アクション)	該当なし	Send (送信) ボタンをクリックすると、上記テキストメッセージが SMS として送信されます。 Delete (削除) ボタンをクリックすると、すべてのチェックの入った

イーサネット LTE モデム

SMS を削除します。

3.2.2 コマンドスクリプト

コマンドスクリプト構成とは、管理者が事前定義された構成をプレーンテキスト形式で設定し、起動時に構成を適用できるようにするアプリケーションです。

コマンドスクリプト

コマンドスクリプト

```
STARTUP=#!/bin/sh
STARTUP=restrict=70
STARTUP=while [ 1 ]; do
STARTUP= cnt_status=`rdcsman 0x801e0701 u32`
STARTUP=_if [ "$cnt_status" == "2" ]; then
STARTUP= signal_strength=`rdcsman 0x801e0e01 u32`
STARTUP= if [ "$signal_strength" -lt "$restrict" ]; then
STARTUP= wrcsman "0x801e0701 3"
STARTUP= fi
STARTUP=_fi
```

360 / 4096

有効

☐ 有効

コマンドスクリプト		
項目	設定値	説明
コマンドスクリプト	1. 任意の設定 2. 任意の文字列	適用されるコマンドスクリプトの簡単な説明を入力します。
Enable (有効)	デフォルトでは、ボックスのチェックは外されています	[Enable (有効)] ボックスにチェックを入れ、Command Script (コマンドスクリプト) 機能を有効します。

第 4 章 ステータス

4.1 セルラー

4.1.1 ネットワーク

ネットワーク	モデム	信号
IPv4ネットワーク		
モード	NAT	
接続状態	接続	
IPアドレス	10.215.166.5	
ネットマスク	255.255.255.252	
ゲートウェイ	10.215.166.6	

IPv4 ネットワーク		
項目	値設定	説明
Network Mode (モード)	該当なし	デバイスはネットワークモードが [NAT] または [モデム] 表示されます。
Conn. Status (接続状態)	該当なし	ISP に対するデバイスの接続状態を表示します。ステータスは、Connected (接続) または disconnected (切断) です。
IP Address (IP アドレス)	該当なし	ステータスは現在の IPv4 IP アドレスを表示します。
Subnet Mask (サブネットマスク)	該当なし	サブネットの現在のマスクを表示します。
Gateway (ゲートウェイ)	該当なし	インターネット接続用に ISP から取得したゲートウェイの IP アドレスが表示されます。未構成の場合、デフォルト値は 0.0.0.0 です。

イーサネット LTE モデム

4.1.2 モデム

ネットワーク	モデム	信号
モデム情報		
IMEI	861107036953801	
ファームウェアバージョン	EC25EFAR06A01M4G_OCPU	
詳細情報	<button>詳細</button>	

モデム情報 項目	項目	項目
IMEI	該当なし	「国際携帯機器識別番号（または国際移動体装置識別番号）」と訳される。データ通信カードなどがそれぞれ1台ずつ持っている識別番号（端末識別番号）のこと。
Module Version (ファームウェアバージョン)	該当なし	モジュールバージョンを表示します。

詳細情報	
IMEI	861107036953801
温度	34
Bandリスト	B1,B3,B5,B7,B8,B20,B38,B40,B41

モデム情報 項目	項目	項目
Temperature(温度)	該当なし	デバイスは現在の気温を表示します。
Band List (Band リスト)	該当なし	デバイスはサポートバンドを表示します。

イーサネット LTE モデム

サービス情報	
オペレーター	Chunghwa Telecom
サービス種類	LTE
バンド	Band 7
詳細情報	詳細

サービス情報		
項目	項目	項目
Operator (オペレーター)	該当なし	サービスネットワーク通信事業者の名前が表示されます。
Service Type (サービス種類)	該当なし	3G または LTE ネットワークサービスが表示します。
Band (バンド)	該当なし	使用中のバンドが表示されます。

Detail (詳細) ボタンを押すと、Modem Information (モデム情報) などの 3G/4G モデム情報ウィンドウが表示されます。

イーサネット LTE モデム

詳細情報

MCC	466
MNC	92
ローミング	No
Cell ID	966CE17
バンド	Band 3
LAC	0
TAC	36400

閉じる

イーサネット LTE モデム

4. 1. 3 信号

ネットワーク	モデム	信号
セルラー信号		
サービス種類	LTE	
オペレーター	Chunghwa Telecom	
RSSI	51	
詳細情報	詳細	

セルラー信号		
項目	項目	項目
Service Type (サービス種類)	3G または LTE ネットワークサービスが表示します。	3G または LTE ネットワークサービスが表示します。
Operator (オペレーター)	該当なし	サービスネットワーク通信事業者の名前が表示されます。
RSSI	該当なし	3G/4G 無線信号レベルを表示します。

Detail（詳細）ボタンを押すと、Strength / Quality（信号強度/品質）などの 3G/4G モデム情報ウィンドウが表示されます。

イーサネット LTE モデム

詳細情報

RSSI	51
RSRP	80
RSRQ	9
SINR	1.80
RSCP	0
ECIO	0

閉じる

イーサネット LTE モデム

4. 2. 1 LAN クライアントリスト

Client List	
Client List	
192.168.123.9	詳細
192.168.123.10	詳細

Detail（詳細）ボタンを押すと、Client 情報が表示されます。

Client List	
IPアドレス	192.168.123.10
ホスト名	DESKTOP-31T83VD
MACアドレス	d4-5d-64-67-7f-8a